

# ゴミゼロ社会へ

## 「びん類・ペットボトルの出し方」

市では、ごみの減量化・資源化に向け、平成3年度からびん類、平成10年度からペットボトルの分別回収を始めています。

回収後、中間処理施設で選別・梱包を行い、再生業者に引き渡しています。回収したびん・ペットボトルの中に、キャップを取り除いていないものや、たばこの吸い殻などの異物が混入していると再生する過程で質が悪くなり、みなさんにせつかく分別して出していたとしても再商品化できません。このため、中間処理施設では、作業員がこれらキャップなどを手作業で取り除かなければならず、大きな負担となっています。ごみの減量化、資源化には、

みなさん一人ひとりのご協力が必要です。びん・ペットボトル

## 異物混入で再商品化不能

### 注意しよう キャップは必ず取り除き、中身はすすぐこと



るようお願いいたします。

- ▼出す前にチェックしよう
- ◎キャップは取り除く
- ◎中をすすぐ
- ◎中に異物を入れない

7月2日、海老名駅前とサティ前で、「社会を明るくする運動」の街頭キャンペーンが、海老名市保護司会、更生保護婦人会、

## 7月は社会を明るくする運動月間



「社会を明るく」キャンペーン運動の展開(サティ前で)

## 広げよう協力の輪 少年を非行から守り、立ち直りを助ける

青少年相談所補導員協議会などの参加で行われました。この運動は、次代を担う少年

**あぜみち**

夢の話をしませうか。昔、20年近く前、海老名に越してきた時は自然がいっぱいで、子どもとともに感激したものです。でもあつという間にトンボは消え、カエルの鳴き声はしなくなり、休耕田は草ぼうぼうになり、果ては砂利が敷かれて駐車場に…。

## 一石何鳥…夢の話です

休耕田を市が安く借り上げて雑木林にするのです。小鳥は喜び、子どもたちは虫捕りに余念無く、大人は森林浴で心をいやし、温暖化防止、大気汚染防止にもなり、一石何鳥にもなると思うのです。管理はお元氣なシルバーボランティアにお願いしましょうか。やっばり夢よネ。(中新田在住・岡サト 広報モニター)

そこで、夢の話です。

## 市民委員2人募集

### 市総合計画審議会「市職員」と交代へ

海老名市総合計画審議会委員2人を、市民の方から募集します。これは同審議会条例を改正して、これまで委員のうち2人を「市職員」から選出していたものを、「市民」としたことにより

同審議会は今年度からスタートした第三次総合計画後期基本計画の策定に携わってまいりましたが、今後はその進行等に際しての審議などを予定しています。応募資格は市内在住の20歳以上の方となりますが、詳細は募集要領をご覧ください。募集要領は企画課またはホームページ上で締め切りは8月31日(金)。

◎企画課(内282)。

## 市政参加へのお願い

市では、市民と行政の協働作業によるまちづくりのため、各種審議会や協議会、委員会などについて、市民のみなさんに参加していただいています。

## 20歳以上の方 各種審議会委員 広く公募します

この市民参加をさらに進めるため、市では「審議会等への委員公募に係る指針」を策定し、公募による市民委員の参画を定めました(法律で委員の資格が定められているもの、個人のプライバシーに密接に関わるものなどを除く)。

これまでに「健康づくり推進協議会」や「廃棄物対策推進協議会」などの募集を実施しています。委員の種類によっては、

## 市政を知る 施設めぐりご参加を

市では、市民のみなさんにあるのままの市政を知っていただき、市政に対するご理解と協力をいただくため、施設めぐりを行います。

多くの方に参加いただくため、同じコースで2回開催します。このため、ふるってご参加ください。

▽日時 8月7日(火)、28日(火) 午前8時50分～午後3時45分(予定) ▽集合場所・時間 市役所に午前8時50分集合

▽見学コース・方法 市役所↓温故館↓高座清掃施設組合↓

※昼食や飲み物などは、各自でお持ちください。

◎同課(内274)。

市役所(風食) ↓消防署 ↓海老名警察署 ↓市役所(午前中は大型バスで回ります) ▽募集人数・対象 小学校3年生以上の市民、1回につき40人。

◎参加する方の氏名・住所・年齢・性別・電話番号などを電話で広報広聴課へ。受け付けは7月16日(月)から先着順とし、定員になり次第締め切ります。

## 市長への手紙

38

### ミックスペーパー出し方の改善望む

分別してみてわかったのですが、家庭内のミックスペーパーは大変多く、月2回の回収ではたまる一方で、紙袋に納まりきれません。そこで、回収日の増設と大きなビニール袋でも可とする出し方の改善をお願いします。

ミックスペーパーは可燃ごみと同じぐらい出るといふことを知り、再生できる紙類を分別せずに焼却処理してしまうのは、本当にもったいないと実感しています。

男性

### 《市長からの回答》

ごみの減量化や資源化を目的に行っている資源分別回収の回収日数などについては、市内に約1900カ所ある集積所から、最小限の経費で効率よく回収できるように検討し、現在の形に設定しています。

ご要望の回収日の増設については、10月に容器包装廃プラスチック等の分別回収の開始を控えていることなどから、混乱を最小限に抑えるためにも回収日数等の変更はせずに現在の回収

## 当分は現状回収体制で

体制を維持し、資源分別回収が一通り定着した後、見直しを検討します。

また、ミックスペーパーを出す際の袋については、効率的にリサイクルできる利点から、原則として紙製の袋を使っていたこととしていますが、透明ビニール袋に入れたものも回収していますので、ご安心ください。

今後、市民のみなさんにとって協力しやすい回収体制作りを努めてまいります。

◎広報広聴課(内274)

「みなさんの声」毎月15日号で掲載